

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Stage 直腸癌における再発危険因子の検討
	研究目的	本邦では、Stage 大腸癌(結腸癌および直腸癌)に対する根治切除後の補助化学療法の有用性は確立していないが、海外のガイドラインでは Stage 直腸癌の再発高リスク群に対しては術後補助化学療法を行うことが標準治療となっている。本邦においても Stage であっても再発高リスク群に対して積極的な術後補助化学療法を行うべきか、さらなる議論の余地がある。本研究では、直腸癌の再発危険因子を明らかにするため、Stage 直腸癌で根治切除後、術後化学療法を施行していない症例を対象とし、臨床病理学的因子について統計学的に解析を行い、再発危険因子について検討する。
	研究対象者	以下の全てを満たす症例 1) Stage の直腸癌と診断された患者 2) 2002年3月から2012年9月に当院で根治切除術を施行した患者 3) 術後補助化学療法を施行していない患者
	研究期間	西暦 2018年11月16日 ~ 西暦 2019年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 加藤綾
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし